

外国ルーツの子どもの支援講座

各地で日本語初期指導が行われるようになりましたが、日本語力が不十分なまま学級に戻り授業や生活を送る子どもたちが増えています。その結果、学習についていけなかったり、友人関係で悩みを抱える子どもたちもたくさんいます。今回の研修では、前半に受け入れ時や日常の生活支援、日本語指導の必要性などについて学び、後半では日本語初期指導が終わった子どもたちへの支援や指導方法について教材の実物などを使ったワークショップを行います。

《講話》 13:00～14:40

◎外国ルーツの子どもたちの受け入れと日常の生活支援について。

◎生活言語と学習言語の違いと、日本語指導の必要性について。

《ワークショップ》 14:50～15:50

◎日本語初期指導が終わった子どもたちへの学習支援。担任の先生が使える教材と指導方法について。



日 時 9月20日(土) 13:00～16:00 (受付開始 12:30～)

場 所 熊本市国際交流会館 5 F 大広間

参加費 500 円

定 員 60 名 (定員になり次第受付終了)



◆参加対象者 ・小中学校、高校で外国人児童生徒を受け入れている

担任や先生方

・地域で子どもへの日本語教室や学習支援を行っている行政職員や地域の方

・子どもへの日本語指導を学びたい方

◆申し込み先 一般財団法人熊本市国際交流振興事業団 担当：勝谷

住所：〒860-0806 熊本市中央区花畑町4番18号（熊本市国際交流会館内）

TEL 096-359-2121 FAX 096-359-5783

e-mail katsuya@kumamoto-if.or.jp

右のQRコードからお申込みください。（FAX・E-Mailでのお申込

◆主催： 熊本・外国ルーツの子どもたち支援連絡協議会

共催： NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと

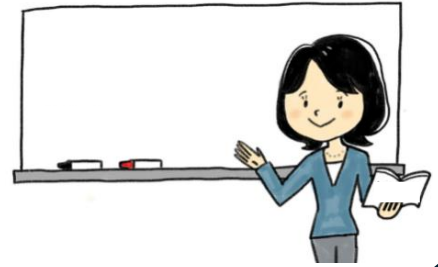
後援： 一般財団法人熊本市国際交流振興事業団、熊本県人権教育研究協議会



講話 ① 受け入れについて

外国ルーツの子どもを受け入れるとき、私たちが知っておかなければならないことがたくさんあります。

- ・受け入れるとき編入学年はそのままか下げるのか
- ・こどもの名前は本名か通称名か
- ・子どもの国籍や在留資格はなにか
- ・授業で配慮をすることはどんなこと その他いろいろ



講話 ② 生活言語と学習言語

こんな子いませんか？



なんでもよく話すけど、教科書の文章がすらすら読めない。読めても、内容が理解できない。学校の勉強にどうしてもついていけない。忘れ物が多かったり、宿題をしてこなかったり、クラスメートとのトラブルも……。普通に話せるのに勉強ができないのはどうしてでしょうか。

ワークショップ ① 教科書の日本語的読解

教科書を大きな声で音読して、暗記までしている子もいます。でも、まったく問題が解けません。英語では最初に主語があり、次に述語があります。

日本語はどうでしょう。主語がない文もあるし、文を最後まで読まないで述語がわかりません。日本語の文が理解できるような読み方をどうやって教えたらいいか、国語や算数の文を使い、皆さんで考えてみましょう。



ワークショップ ② 子どもたちへの宿題 大丈夫？

夏休みが終わったばかりですが、外国ルーツの子どもたちは夏休みの宿題をしましたか。クラスの子どもたちと同じ宿題を出される子どもたちがほとんどですが、来日1, 2年の子どもたちは自分一人ではできません。また、保護者も日本語

が分からないため教えることができません。子どもたちには大きなストレスを与えることになります。

子どもたちができる宿題を出すにはどうしたらいいか、実際の夏休みの宿題を使って、みんなで考えてみましょう。



FAX 申込用紙

熊本市国際交流振興事業団 勝谷宛

(F A X 0 9 6 - 3 5 9 - 5 7 8 3)

[外国ルーツの子どもの支援講座] <参加申込書>

9月20日(土)の研修会参加を申し込みます

お名前 _____

ご所属 _____

連絡先(電話番号) _____

(E-mail) _____

※個人情報については本研修についての連絡以外には使用いたしません。

※定員に達した後申込書が届いた場合は、お断りの連絡を差し上げますのでご理解

お願いいたします。

※申し込み後、ご都合により参加できなくなった場合にはその旨必ずご連絡ください。